

当面する諸案件を報告

大網白里市議会第3回定例会 市長事務報告

9月3日から30日まで、市議会第3回定例会が開催されました。開会日に市長から、事務報告がありましたので、概要を掲載します。なお、可決議案等の詳細は、市ホームページをご覧ください。

新型コロナウイルス感染症対策

感染力の高いデルタ株が全国的に猛威を振るう中、柏市において、新型コロナウイルスに感染した妊婦の方の入院先が見付からず、新生児が死亡するという大変痛ましい事故がありました。県内では、感染者の急増により受け入れ病床数が逼迫し、適切な医療を受けられない方々が増加しつつあります。こうした悲劇が繰り返されないよう、妊婦への優先的なワクチン接種の準備を進めるとともに、大網病院においても、発熱外来に加え、9月1日付けで、コロナ病床を開設しました。

財政関係

令和2年度の一般会計決算は、歳入決算額が215億1,705万7,569円、歳出決算額は208億9,702万6,719円で、形式収支は6億2,003万850円となりました。形式収支から翌年度に繰り越すべき財源を差し引いた実質収支は、6億2,272万2,850円の黒字です。一般会計以外の特別会計および公営企業会計も、黒字となっています。

防災対策

今夏は、全国各地で記録的な大雨が続く、多数の被害が発生しました。近年、こうした異常気象による災害が多発していますが、これらの災害に対しては、何よりも日ごろからの備えと危険な状況に陥る前の早期避難が重要です。本市でも、6月27日に市内全域の土砂災害警戒区域等を対象とした「土砂災害避難訓練」、市役所職員を対象に「職員災害初動対応訓練」を実施しました。

高齢者福祉



▲陸間

3月に策定した第8期高齢者福祉計画・介護保険事業計画に基づき、「高齢者が住み慣れた地域で活躍できるまちづくり」、「介護が必要になっても安心して暮らせるまちづくり」を目指し、各種施策を展開しています。「介護保険サービスの強化・充実」に向けては、認知症高齢者グループホームの整備運営事業者を公募により決定し、令和5年度からサービス提供を始められるよう進めます。

このほか、認知症高齢者見守り事業として、QRコード付きのラベルシールの配布を開始しました。ラベルシールを洋服などに貼ることで、保護の際、QRコードを読み取った方を通じて家族等にメールが送信される仕組みとなっています。

公共交通

平成29年3月に「大網白里市地域公共交通網形成計画」

が作動することで、万一の津波発生時にも、現地で人が操作することなく、ゲートを閉鎖できるようにします。

を策定し、コミュニティバスの運行等に取り組んできましたが、本年度末をもって計画期間が満了となることから、「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律」の一部改正や地域公共交通を取り巻く環境の変化を踏まえ、新たな計画となる「大網白里市地域公共交通計画」の策定に向けた準備を進めています。

計画の策定に当たっては、市全体の公共交通の現状と課題を整理した上で、地域公共交通活性化協議会における議論等を通じて、地域の実情に応じた持続可能な公共交通の実現を目指します。

また、白里地区のコミュニティバス「はまバス」は、10月から、地区内循環ルートと市街地ルートを統合した新たな運行計画がスタートする予定です。「はまバス」が白里地区の日常生活における身近な移動手段として、一人でも多くの方に利用いただけるようPRに努めます。

包括連携に関する協定

民間企業の活力をまっすぐに積極的に取り入れることで、行政の力だけでは実現が困難な取り組みや災害時における物資の手配などの対策を進めています。この一環として、6月30日に明治安田生命相互会社と、さらに8月4日に三井住友海上火災保険株式会社と、地域の活性化や市民サービスの向上に向けた「包括連携に関する協定」を締結しました。協定に基づき、産業や観光の振興、災害対策、子育て支援などのさまざまな分野で、地域の課題解決や活

性化に努めます。

開発行為における権限事務の移譲

令和4年4月を目途に進めている開発行為に関する事務の権限移譲については、本市第6次総合計画に掲げている「土地利用の基本方針」の実現に向けて、「市街地調整区域における土地利用方針の改正案」と「権限移譲に伴う市街地調整区域の開発許可の方針案」を作成し、パブリックコメントを実施しています。

下水道事業

昨年度より公営企業会計として、公共下水道、農業集落排水およびコミュニティ・プラントの3事業の一体的な運営を図っています。しかし、下水道事業に対する一般会計からの繰入金は今年度減少しているものの、事業を維持していくためには早急な経営の健全化が必要とされています。一般会計からの繰入金削減の削減に向け、下水道使用料改定

夏期観光

具体的な作業を進めます。

白里海水浴場は、新型コロナウイルス感染症拡大により、昨年に引き続き開設を見送りました。なお、今年も駐車場に警備員を配置し、感染症拡大防止の注意喚起チラシを配布するとともに、事故防止のため、海岸に監視員を配置し砂浜のパトロールや放送による注意喚起を行うなど、安全管理に努めました。

教育関係

本市では、「大網白里市通学路交通安全プログラム」および「登下校防犯プラン」に基づき、毎年、通学路の定期合同点検を実施しています。例年、市内3中学校の学区の

うち1学区分を選定して点検を行っています。八街市で発生した交通事故を受け、今年度は市内3中学校区全てについて、東金警察署、山武土木事務所、本市小中学校長会と共に緊急一斉点検を実施しました。今回の点検で安全対策の必要性が挙げられた箇所は、現地の状況を踏まえた上で、必要とされる安全対策の方法および実施時期について調整を図り、千葉県教育委員会に報告しました。かけがえのない児童生徒の命を守り、安全な登下校が行えるよう努めます。

このほか、コミュニティ・スクールの導入について準備を進めています。コミュニティ・スクールの導入に対して、保護者や地域住民が参画できる学校運営協議会を導入した学校のことで、本市では導入に向けた検討をした結果、白里小学校をパイロット校として選定した上で、令和4年度から試験的に導入し、効果等を検証します。

公有財産の売却

市では、紀尾井町戦略研究所株式会社が運営する「KSI官公庁オークション」の公有財産売却システムを利用して、公有財産の売却を行います。インターネット上で一般競争入札の一部手続き（参加仮申込、入札等）を行い、公有財産を売却しようとするものです。今回は消防車両2台（1台ずつ売却）を予定しています。詳細は市ホームページをご覧ください。

- ▶参加申込期間=10月22日(金)~11月8日(月)
- ▶入札期間=11月22日(月)~29日(月)



▲売却予定の消防車両

財財課契約管財班
☎0475(70)0312